

ふみ江様略歴紹介

明治45年 6月20日

千葉県にて生まれる

幼年時代は身体が弱かったので、お寺の稚児行列に加わり身体が強くなるように祈って貰いました。

大正12年の関東大震災は学生でした。教室から飛び出し、校庭の木にかじり付きました。

青春時代・大正時代のモダンガール、モダンボーイと呼ばれる時代を過ごしました。高等女学校で看護婦の勉強をしました。

東京で結婚しました。昭和20年8月以降は、戦後の混乱期のため、食べるものがなく、子供を育てるのが大変でした。

老後は、厚木に住み一人暮らし。時々、子供や孫たちが遊びにくる落ち着いた日々を過ごしていました。

趣味は大正琴、和裁、絵手紙でした。

100歳以降は、デイサービスへ行っており、105歳以降は愛和の里で楽しく暮らしておりました。

特別号

愛和の里 広報誌

令和 7年 2月6日 発行



112歳

故鈴木ふみ江様を讀えて

施設長より

林 政信

感謝の気持ちを胸に

私たちの愛する『宝もの』が天に召されました。

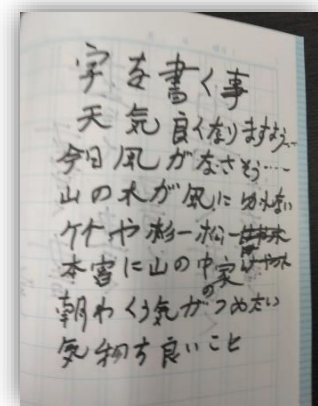
112年の素晴らしい人生を歩まれたふみ江さん。

これほどの深い感謝を持てること、愛和の里の職員として大変幸せなことでございます。

ありがとうございました。これからも遠くから見守ってください。



ありがとう 鈴木ふみ江さん



ふみ江さん書

鈴木ふみ江様 享年112歳 令和6年12月25日に永眠されました。
 愛和の里には、令和元年6月からご入居されまして、100歳を超えていると思えないようなパワフルで、元気なふみ江さんと、毎日楽しく生活させて頂き、私たち職員も大変元気をもらいました。



思い出が
いっぱい
です!!



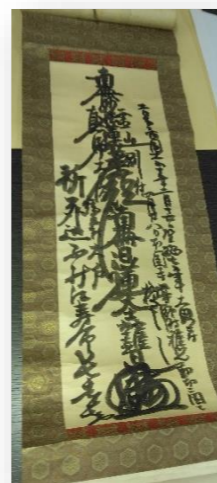
ご家族にインタビュー



息子様とお孫様がインタビューに応じて下さいました。
 ※写真 長男様



稚児行列のふみ江様
 とっても可愛らしい
 ですね



😊 若い頃のふみ江さんはどのようなお母さんでしたか？
 ⇒とにかく忙しい人でした!! いろいろなことをして働いていました。

😊 お孫さんの思い出は？
 ⇒アイスをもらったり、恵比寿のお店で面倒をみてもらいました!!

😊 愛和の里で6年余り生活されました。心境の変化がありましたか？
 ⇒いつまで生きているんだろう!! とびっくりしていました。

😊 一番の思い出は何ですか？
 ⇒何かなあ・・・。鳶尾に1人暮らしで住んでいたことですかね。

伊豆へ旅行に行ったこともありました。

旅行が好きで、毎年行っていましたね。

後は、愛和の里でお世話になったことですかね。

迷惑をかけない。
 できるだけ自分のことは自分でやる!!

苦勞したことも
 あったけど、太平
 洋戦争の時はずっ
 と大変だった!!



お餅つきとふみ江さん



ケーキとふみ江さん



五月人形とふみ江さん



111歳皇寿の式典とふみ江さん

お誕生日会もたくさんお祝いしました!

